

第39回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：平成31年3月8日（金） 10:00～12:00
2. 開催場所：オルガノ株式会社 本社ビル2階 209・210 会議室
3. 出席者：渡邊（東北大学）、山本（東芝ESS）、久宗（WANO）、杉野（日本原電）、林（東京電力HD）、石原^代（三菱重工）、長瀬（日立GE）、河村（電中研）、大橋（オルガノ）、塚田・塙（JAEA）
【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録の確認

前回運営小委員会議事録について、了承された。

(2) 水化学部会運営小委員会委員選挙結果報告

選挙管理委員会より、2月に実施された運営小委員会委員の選挙結果が報告された。

(3) 2019・2020年度水化学部会運営小委員会担当委員について

2019年度以降の運営小委員会の運営方針について、副部会長から提案がなされた。

これまでは、企画、庶務など各担当には複数の委員を任命していたが、各担当への委員は一名（責任者）を基本とする。これは、各担当の負担状況に応じて委員を増員することで負担の平坦化をはかること、及び、細則の見直しにより今後は部会長の裁量によりワーキンググループ（WG）の設置が可能となるため、WG設置に応じて委員をWG担当に任命できるようにすることが目的。なお、WGのタスク及び設置期間はホームページで公開するとともに、WGへの若手登用を目的にホームページでメンバーを募集する。まずは、定例研究会、ロードマップ、水化学ハンドブック、AWC2021を立ち上げる。

(4) 水化学部会運営小委員会細則の見直しについて

塙委員（庶務担当）より、WGを部会長の裁量で設置可能とするための水化学部会運営小委員会細則の見直しについて資料に基づき説明がなされ、了承された。

(5) 第36回 定例研究会について

長瀬委員（広報・編集担当）より、資料に基づき第36回定例研究会の案について説明がなされた。

開催日時は平成31年7月9日（火）13:30～17:00、場所は(株)日立製作所 秋葉原ダイビル 大会議室、基調テーマについては、「ラジオリス」とする

ことが説明され、了承された。当日は、午前に第 40 回運営小委員会を開催する予定である。

(6) H30 年度 全体会議の資料について

埴委員（庶務担当）より、全体会議の資料が説明され、午後の全体会議での報告が了承された。

(7) 水化学部会賞の運用開始について

埴委員（庶務担当）より、資料に基づき水化学部会賞の運用開始について報告がなされた。

部会賞は、暦年で運用することとなった。また、部会賞選考小委員会が設置されるとともに、2019 年春の年会における講演賞選考委員が指名された。

(8) 2019 年 秋の大会 企画セッションについて

山本委員（企画担当）より、資料に基づき 2019 年秋の大会企画セッションについて提案がなされ、水化学ロードマップの改定を紹介することとなった。

(9) AWC2021 の日本開催に係る準備状況について

杉野次期委員より、資料に基づき AWC2021 の検討状況について報告がなされた。

場所は、東北大学片平さくらホール、候補日は 2021 年 9 月 1 日～3 日（3 日間）または 10 月 19 日～22 日（のうち 3 日間）の何れかとし、東北大学原子炉廃止措置基盤研究センターの共催とする。

(10) 2018 年度部会報の発行について

長瀬委員（広報・編集担当）より、3 月中に部会報が発行されることが報告された。

(11) 水化学ロードマップのフォローアップ状況について

河村委員（ロードマップ WG 担当）より、資料に基づき水化学ロードマップフォローアップ検討の進捗状況について報告がなされた。

(12) 水化学ハンドブックの改訂について

杉野次期委員より、水化学ハンドブック改定 WG の検討状況について報告がなされ、今後、編纂委員会（仮称）の下に基礎編分科会（仮称）、BWR 分科会（仮称）、PWR 分科会（仮称）を設置し、議論を進めることが説明された。

(13) シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動研究専門委員会について

埴委員（庶務担当）より、資料に基づき同専門委員会の活動状況について報告がなされた。

(16) その他

渡邊部会長より、NPC2018 の運営ガイドラインの改定に関し、参加実績の無い国がホスト国として立候補することは不可能となること、コアメンバーには、最近の開催国 4 ヶ国、直近の開催予定国 2 ヶ国ならびに最近 3 大会の参加者数の実績が優れた 3 ヶ国の計 9 ヶ国が選出されるルールとなったこと等が報告された。

以 上